

部は保定より北京に召致して南苑に

の系けいの如ごとき之のをを應こたじて西さい安あんの省しょう

◎ 仁川の燧寸移入
日より六日迄仁川に移入せる燧寸は

より臨時に阪神兩地の問屋より積載

物は不配達で知るべし

輸送至難なる四川の水險

輩の出發已に久しきにも拘らず

用し漁業をなし居れりとの報に接し

山本氏送別會
元京城女子公立普
つ井

京城學校組合告示第四號
兒童用机參百拾六脚

店目下好況收入多き京菱線
料理店鋪敷に付き至急格安譲
62

●訴へられた
剪風號

都市丸大町通等町東入の當時第十師歩兵第三十八聯隊第一中隊二卒伊崎省三(一)は滋賀縣神崎郡八市町豫備少尉兼木九兵衛氏を相手として久間護士を代理人として第百騎兵隊に有償護送の損害賠償請求訴訟を大津地方裁判所に提起せし其理由は昨年一月故放虎三郎が大津時飛行機墜落事故に全く廢物に歸したるも當時助手と共に伏見草津に墜落慘死したるに依り修理出来得るものと信じて長島津モーター部に相談し更に獲得の運法に掛合ひ伊崎七分熊水三分の戒を加つゝあり云上海)

の一隻を逮捕し他は何れにか遁走し
よりこは必定東北海岸に落ち
に此旨を急使したるに急報し上
長は各部署を定め王山、大津、方面
河津、谷、群在所を了て又江口方
上松部長、敵名の巡査、逸査を
出動、警し居りしに果して三
隊に乗り極めて怪しき四隻の漁
口に入港したるより一同は直ち
砲に駆け付けたるも此時已に作
船乗組員は上陸して何れにか安
しかりを以て引きて去り
捜査をなしたる結果五名は押
江口、河野、屋吉、田、郷、生れ
長吉、河野、良、志、郷、九郎、田、郷、
郎五名を逮捕し他は今は押査
るが節節逮捕された五名の中
の所に依りて逃走したる者は河

[illegible]

へに來る兵
 成される、かうして厨食物
 兵士は更に炊事軍曹の所へ
 はい来りて四合宛、飯盒に入
 りて湯の漉すところへ持つて
 前並んだ飯盒の中には飯と
 して、グツと蓋を返つて
 土は或は手を擦しながら上
 げながら飯の出来るのを
 る。その邊りには
 を焙る軍曹
 は「オイオイ第三目の端
 じやう」などと大に鼻を利
 の分隊長もある。吹き出し
 に響いた木の柁や、牛肉の
 香に似た様な甘い、午向の
 大分廠の出来た兵隊さんの
 香油の大名譽

私立京生 本校生徒 入塾願 私立 京城	私立京生 本校生徒 入塾願 私立 京城	株式會社 大正五 四月十 右大正五 地	此契約合 學徒組合 體の上製 札心得薄 石請負望 十讀以上 大正五
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

城學校組合
銀行水原支店登記事項
登月壹日京城南海南大門通
登番地二水店設置シテ
京月七日登記

法院水原支廳

徒募集
名者三月十五日迄
南大門內電話一七八九番

中等夜學校
名者三月十五日迄
南大門內電話一七八九番

徒募集
名者三月十五日迄
南大門內電話一七八九番

技藝學校
南大門內電話一七八九番

恭臨
非常自宅持込
若草五國以上主
外交員電取職
拔筆兩人來談
治町二人談
食料雜貨店
市内日振の爲す
御國の爲す
御一品揃
報一本品揃
電話二七八一
古本買入
京本附一
番外
寫技師出世
門生航海士
至米人來談

[illegible]

定がその頃落馬したのが原因になつて疾病を起し獨逸

守備兵脱營しうびへいたつたい

面并浦里金基鳳(ニハ)は二月十日
九時同郡秋乙美面の大同江を渡

手^てに飯^{はん}盒^{ごう}

會乙於乙數多矣
曲

電話新橋百五十九番
大
見習

永田亭 電話八六五

又復爆彈

附近を進行中線路に飛び込み頭部四股共に減茶々に切斷され自殺を遂げ

胃の腸
定價

銀、卅錢、六十錢、一圓

原料は何でも
ありまふ
かんざし、ボンボツ

電電
者來談あれ

金町一丁目百九十八番
秋葉

を借用す』との意なりし由譯は此書面に接し不安の念に駆られたるも見

平素小心者の彼は非常に之を苦慮し前後の考へもなく逃亡したるも今

ださう
はごう

菜と飯と一緒に煮るなど
でも軍隊式だがよくしたも
兵士は手の先で飯盒を握

電話二二九
京城鐘路五
原州式見小

即●春川桑本通致店
番目酒井送運店 309

常に一名の印度巡查を門前に張番せしめつゝありき然るに去る二日午後

警官四艘の怪

その方面の照臨非常の勉強
製品販賣の如き益々激増の結果
不足の盛況を呈する状況なる
黄二棒

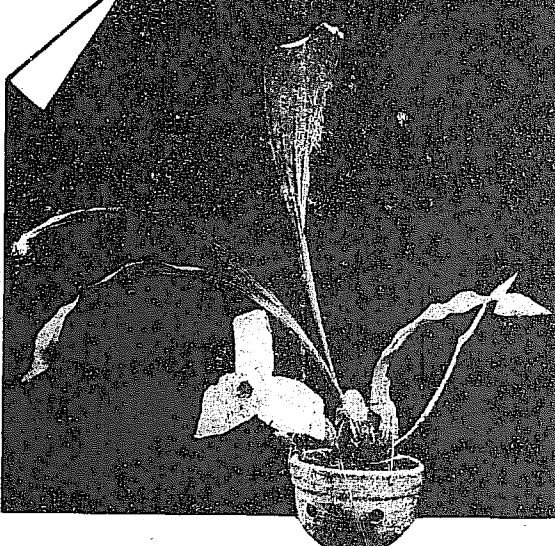
丸太があり、更にそれに短か
架け渡されてある恰度梯子を
だ。戦

『さへ出来ぬ』とは成程眞理の支度のいゝのは恐れ入つ

急入川希望
 娛樂園角電
 店員入田

新龍山三角地 3
島田金物商店
○京城南天門
御成

山口屋



宮妃殿下及宮内省御内儀御用の光榮を拜し藤原實朝方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられて定實 頭上種女などは僞物なり

胃の膽に泌み渡ると、待つてよしとどばかり、さもしい腹の蟲がグウグウと音を立てる然しそれも憚か

十分から廿分

位で出来上ると兵士は大喜びで蓋を開けてみてニコリする。二三年前まで行軍中は大釜で一緒に焚いたのだが今は、各別に焚かせるのださうだ。茶飯と一緒に煮るなごはごうしたも軍隊式だよくしたもので經驗上兵士は手の先で飯盒を觸つてみれば飯の加減がすつかり判るがさうだ。『初め炊くのは晩飯だからかきむと直ぐ』

[illegible]

